

## 10月に地盤フォーラム開催 —— 全国から関係者が集結

# 業界のあるべき姿を考え、 変革する場に

日本地盤協会（東京都台東区、片岡雅美代表理事）は今秋、協会創設後初めてとなる「地盤フォーラム」を開催する。1泊2日の日程で、基調講演の講師にはM's構造設計代表の佐藤実氏、福岡大学工学博士の大和竹史名誉教授らを招く。代表理事の片岡さんは「地盤業界の在り方、地盤会社の果たす役割や今後の方向性を共に考え、大いに議論を交わし、地盤業界をより良い方向に変えていける場にしたい」と意気込む。

## 工務店と地盤会社が互いの専門性を 尊重しあう「安心・安全な家づくり」

一般社団法人 日本地盤協会

日本地盤協会は2014年11月、「地盤業界のメインを地盤会社に取り戻す」という理念のもと発足した全国の地盤会社を会員とする一般社団法人。現在78社の地盤会社が会員となっている。協会は、調査・改良は行わず、地盤保証に特化したシンプルな仕組みで会員のための地盤保証を提供する。あくまでもバックアップに徹するという基本姿勢を貫く。

現在の地盤業界では、工務店と地盤調査会社・地盤工事会社の間「地盤保証会社」が介在し、地盤改良・補強工事の

必要性の有無（基礎仕様判定）や施工受注を行っている。保証会社は工務店からも直接受注を受けている。保証会社の判定が最優先なので、結果的に地盤業界への不信につながっていると片岡さんはいふ。

また、保証会社が地盤調査データだけで解析・判定していることにも片岡さんは異を唱える。「本来現場に行って調査・解析することで正しい判定ができる。現場に行かないと正確な解析はできないはず」。

現場が主役となる業界に戻そうという



代表理事の片岡雅美氏

のが協会の思いだ。

### 保証ありきの いびつな構造解消めざす

「保証会社が地盤調査と保証をセットで販売して、『保証が付いているから大丈夫ですよ』というスタンスにも問題がある。地盤（調査）会社は保証会社の下請け、と思わせてしまう側面もある。決してそうではない。保証会社が前面に出るべきではない。地盤保証は裏方に徹することが本来あるべき姿だ」と片岡さんは強調する。

10月5日には、協会発足後初めての「地盤フォーラム～住宅地盤の安心を考える会～」を開催する。参加者は協会会員のみ限定する。

「施主が安心して家づくりを行えるようにするために、工務店と地盤会社は互いに切磋琢磨しながらその専門性をもっと高めていかなければいけない。地盤会社にも定期的な知識習得や研鑽の場が必要。地盤業界全体の質を高める。それが私たちの存在意義でもある」と片岡さんは力を込める。

### 日本地盤協会が提供する地盤保証のスキーム

